
医学社会

慶太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

医学社会

【Nコード】

N2894D

【作者名】

慶太

【あらすじ】

各社社会について医学の方面から捉えた小説にしてみたいなーと俺自身、知識ありませんが

未来

20X年、僕たちの医学はもう金属製の物で体を固定しなくてもいい時代になった。

そう、人体から又新たに組織を作り出すことが可能になった。けれど今や格差社会その治療を受けられるのは僅かに等しい人々だけだそして、その治療方法が認可された病院以外禁術とされている。そんな世界の中でスラムと言われる人ばかり増えていった。

そんなこともお構いなしに医学はどんどん発展していった今まで禁止されていたクローン人間が沢山造られた正に貴族たちが望んだ世界になっていった

そして、そのクローン人間たちは僕達を牛耳る者になっていった

そんな日常のことだった僕達凡人が貴族たちと戦争を起こしたのだ大佐はキングオブヘラクレスと鍬形の戦いのようなものだった

結局、僕達が負けた。そして、今や欲を満たす者の下を必死になっ
つて這う

下種な生き物となった。そして、そんな社会の中でそのクローンを造り出してしまった

研究者達はその現状に悲しみ死んでいった。そんな中で利益などを問わない一人のブラックジャックが現れた。勿論上流階級の者達はそいつを闇に葬ろうとした。だが、そのブラックジャックと称される性別事態不明である。『頼む、娘を治してくれ！』錆びれたドア押しを何度も叩く中年の男性、彼の右腕の中には幼女が毛布に包まれて息苦しそうにしている

その時、扉が静かに開かれたそして、その扉の向こうに居たのは10歳位と見られる少女だった中年の男性はすぐさま彼女に娘を差し出して藁をも掴む思いの声で『頼む！ブラックジャックに』と彼女は幼女を見るなり持参していた解熱剤を投与し男性に『これを夜、寝る前に1週間1杯ずつ飲ませてあげてください』と喋って緑色の

液体が入った小瓶を渡した『有難う君が？』少女は何も言わず扉を閉めたそして、少女は自動で明るくなる廊下を奥の室内へ向かって歩んだ

そして、室内へのドアの前に立つとセキュリティが作動して扉が開いた

そして、そこには

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2894d/>

医学社会

2010年12月14日04時25分発行